

相談窓口			相談内容	連絡先	相談日・時間
南風原町の相談窓口	国保年金課 (ちむぐくる館)	健康相談	健康や育児に関すること	098-889-7381	毎週金曜日 8:30～12:00
	こども課 (役場1階)	子育て相談	子育てのいろいろな悩みに関すること	098-889-7028	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
	保健福祉課 (役場2階)	高齢者に関すること	高齢者に関することや介護保険に関すること	098-889-3534	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
		障がい者に関すること	障がい者(身体・知的・精神・発達)に関すること	098-889-4416	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
	社会福祉協議会 (ちむぐくる館)	ふれあい福祉相談室	生活に関する心配事など	098-889-6270	平日 9:00～11:00 13:00～16:00
		弁護士相談	法律に関することなど 予約制		毎月第2・3・4木曜日 10:00～12:00 (1週間前からの予約)
		司法書士相談	借金や登記に関すること 予約制		毎月第3水曜日 10:00～12:00 (1週間前からの予約)
	産業振興課 (役場4階)	雇用サポートセンター	無料職業紹介	098-889-4430	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
	産業振興課 (ちむぐくる館)	消費生活相談	消費生活問題に関すること	098-889-3217	毎週金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00
沖縄県南部保健所			精神保健福祉相談	098-851-3458	平日 9:00～12:00 13:00～16:00
沖縄県南部福祉事務所			南部配偶者暴力相談支援センター	098-889-6364	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
			生活保護	098-889-7150	平日 8:30～12:00 13:00～17:15
沖縄いのちの電話			悩み相談	098-888-4343	毎日 10:00～23:00
いのちの電話(フリーダイヤル)			悩み相談	0120-783-556	毎月10日 8:00～翌日8:00
よりそいホットライン			悩み相談	0120-279-338	24時間 365日
法テラス サポートダイヤル			法的トラブルでお困りの方	0570-078374	平日 9:00～21:00 土曜 9:00～17:00
おきなわ女性財団 ているる相談室			女性に関する相談 (女性が抱える様々な悩み等)	098-868-4010	火曜～土曜 10:00～17:00
			男性に関する相談 (男性が抱える様々な悩み等)	098-868-4011	日曜・月曜 10:00～16:00
沖縄県総合精神保健福祉センター			こころの電話相談	098-888-1450	月・水・木・金 9:00～11:30 13:00～16:30
ハローワーク那覇			仕事をお探しの方	098-866-8609	平日 8:30～17:15

作文の部

沖縄県大会最優秀賞
NHK沖縄放送局長賞

『世界でたった一人の自分』



南星中学校3年
ゆあ
新里 夢彩さん

作文の部

那覇人権擁護委員協議会長賞

『相談する勇気』



南風原中学校3年
まりん
森田 海鈴さん

イラストの部 佳作



南風原中学校2年
ひなの
屋宜 陽菜乃さん

この作文は「性に対する悩みは自分だけのことではない。他に悩んでいる人の役に立ちたい」という思いから、書かなきゃダメだ！と思って書きました。まさか賞を貰えると思っていたなかったので、受賞をきっかけに多くの人へ届けられると思うと、とても嬉しいです。

私が同性を好きだと気づいたのは、中学1年のときに女の子から告白されて嬉しかった気持ちからです。

仲のいい友達に、自分の性について告白したとき、否定的な言葉が返ってきて、学校に行けなくなるくらいショックを受けました。それから同じような境遇の友達に出会い、本当の自分を愛し、さらけ出すことができるようになりました。私は、小学生の時に母を亡くしました。母からは「自分らしくいてね」と言われていましたが、小学生の私は泣き虫の弱虫で、中学生になってからも自分らしくいることは難しかったです。でも、新しい仲間との出会いが「本当の自分」をさらけ出す勇気に繋がりました。これからも母の言葉を大切に、悩みを持つ人の声に耳を傾けられる人でいたいです。

この作文は「自分が体験したことを、他の人には体験して欲しくないし、もし同じように無視している人がいるなら考え直して欲しい」という思いから書きました。

私は、小学6年のとき、今まで友達と思っていた子から突然無視されるようになりました。何が原因か分からず、塞ぎ込む日々が続きました。そんな私を見て、担任の先生が「大丈夫？」と声をかけてくれ、悩みを全て聞いてくれました。それから、母と祖母にも悩みを打ち明け、私を肯定する言葉をくれ、友達とも適切な距離を置くことも大切なんだと教えてもらいました。

この経験をとおして、悩んでいそうな人に声を掛け、話をきいてみたい、関係のない話を一緒にしてみたりと、周りのことを気にする大切さに気づくことができました。平和な社会を創るには、一人一人のことを考えること、お互いの気持ちをはっきり伝え合えることが必要だと思います。

高校では、経験から学んだ、人に対する接し方を大切に、沢山の友達をつくりたいです。

テレビのインターネット誹謗中傷に関する特集で「指殺」という言葉を知り、絵を描ききっかけになりました。

人を殺すということは、とても重い武器が必要だったり、血みどろで重たいイメージでしたが、今はスマホやパソコンを使い、簡単に言葉で人を殺せる時代になったことが、昔と今の違いだなと私は思っています。戦争などで武器を使って殺すことは、殺す側にも相当な覚悟を持たないと挑めないと思いますが、インターネットの誹謗中傷は「そんなつもりはなかった」と言われるように、人を傷つける言葉を軽い気持ちで書いているケースが多いです。今と昔で、命の重さにズレが出てきているのかなと感じています。誹謗中傷や低評価などのマイナスな内容は、被害者が意識していない場所で発生します。この積み重ねが、死を招く恐ろしいものにもなります。

相手の顔が見えないネットの世界だからこそ、軽率な行動を慎み、打つ前に一度立ち止まって考えることが当たり前になって欲しいです。

将来は、職種や立場に関係なく、命を救える仕事に就きたいです。

全国中学生
コンテスト入賞者インタビュー
人権作文
人権標語
イラスト

